



## 「第 8 回 日本 TRIZ シンポジウム 2012」の プログラムご案内 (第一次発表)

2012 年 6 月 11 日

NPO法人 日本TRIZ協会

第 8 回 日本TRIZシンポジウム 2012

プログラム委員長 中川 徹

第 8 回日本 TRIZ シンポジウムは、主催者企画の諸講演とともに、国内海外から一般発表を多数応募いただきまして、ここにプログラム第一次案を編成いたしました。創造的な問題解決／課題達成に関心をお持ちの皆さまにぜひご参加いただきたく、ご案内いたします。

- (a) プログラムの「一覧シート」、および「プログラム詳細表」でプログラム編成をご覧下さい。
- (b) 諸講演および一般発表の「概要集」(国内発表者(和文)、海外発表者(英文))を公表いたします。
- (c) 参加者の募集および参加申込みにつきましては、別資料を参照下さい。
- (d) 各発表者の方に準備いただくための、「最終原稿提出要領」を掲載しております。  
(なお、発表者の皆さまには別途メールをお送りしております。)
- (e) 先週ご案内しましたように、一般発表の限定的な追加募集をしております(締切 6 月 30 日)。

以下には、プログラム全体の概要をご案内いたします。

### 1. 第 8 回 TRIZ シンポジウム 2012 の概要

主催： 日本 TRIZ 協会、

後援： 日本創造学会 (今年、新しく後援いただくことになりました)

期日： 2012 年 9 月 6 日 (木)、7 日(金)、8 日 (土)

会場： 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55 号館 (東京都新宿区大久保 3-4-1)

主題： TRIZ 思考で、プロセスを変える、夢をかなえる！

詳細情報： (a) 日本 TRIZ 協会 公式サイト： <http://www.triz-japan.org/>

(b) 『TRIZ ホームページ』： <http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/>

### 2. プログラムの骨子

全体プログラムの骨子は下図に示すようです。

第8回 日本TRIZシンポジウム 2012 プログラムの骨子 (計画)

2012. 6.11 第1次公表プログラム案

	第1日 9/6 (木) セミナーの日 (A) (B)	第2日 9/7 (金) コンファレンスの日 (C) (日本語 & 英語)	第3日 9/8 (土)
	(A) セミナー (日本語トラック)	(B) セミナー (英語トラック)	9:00 プレセッション 8:30 日本TRIZ協会 総会
午前	10:00 チュー トリアル 12:00	アドバンス トセミナー	10:00 開会挨拶 基調講演 1件 特別講演 1件 12:30
午後	13:00 テーマ 講演 3件 16:20	アドバンス トセミナー(続)	13:30 一般発表(オーラル) 15:20 一般発表(ポスター) 16:40 一般発表(オーラル) 18:10
夕方	16:40 (A) (B) (C) 参加者合同 特別講演 1件 17:40		14:20 一般発表(オーラル) 閉会 17:10
	18:00 夕食 (A) (B) (C) 参加者合同 グループ討論 20:00	18:30 夕食 & 交流会 20:30	

参加の区分はつぎのようです。

(A) 第1日 (日本語トラック) チュートリアル、テーマ講演

(B) 第1日 (英語トラック) アドバンストセミナー [注: (B)の登録者は(A)にも参加可。]

(A) (B) (C) 合同 第1日 特別講演 (弓野教授)、グループ討論

(C) 第2日 (日本語・英語併用) プレセッション、開会、基調講演・特別講演、  
一般発表 (オーラル、ポスター)、夕食&交流会

第3日 (日本語・英語併用) 一般発表 (オーラル・ポスター)、閉会

3. 主催者企画: 各種講演 と グループ討論など

(A1) チュートリアル: TRIZ の初心者に向けた基本的な解説

- ・ 笠井 肇 (アイデア) 「TRIZ の基本と活用」

(A2) テーマ講演: TRIZ の初心者と経験者に向けた、重要な個別テーマでの解説・講演

- (a) 黒澤慎輔 ( ) 「物理的矛盾とその解決」
- (b) 菊池史子 (パイオニア) 「企業における TRIZ 適用成功事例」
- (c) 中川 徹 (大阪学院大学) 「TRIZ の教育と演習」  
池田昭彦(神奈川工科大学) 他 「大学院における創造性授業」

- (B) アドバンスト・セミナー (英語) : TRIZ 経験者のための先進テーマの講演と演習
- ・ Denis Cavallucci (フランス) 「TRIZ から IDM へ - R&D における発明の実践」  
(基調講演者が、その考え方と実際を 正味 5 時間にわたって解説します)  
[注 : 2 ページにわたる「拡張概要(英文)」を公開しています。参考にして下さい。]
- (A)(B)(C) 合同: 特別講演 : シンポジウムの焦点として選んだ一つのテーマでの招待講演
- ・ 弓野憲一 (日本創造学会会長) 「創造性を教育する - 創造技法普及の土台づくり」
- (A)(B)(C) 合同: グループ討論 : 予め設定した複数のテーマでグループに分かれて自由に討論  
テーマおよびコーディネータを募ります。テーマは後日公表します。  
(別の建物にある) 食堂に移動し、グループに分かれて夕食をし、討論をします。
- (C0) プレセッション : 海外からの参加者と国内参加者の顔合わせと自己紹介 (英語で)
- (C1) 基調講演 : TRIZ の方法論と TRIZ 応用をリードすると期待されるテーマの招待講演
- ・ Denis Cavallucci (フランス) 「R&D 実践のパラダイム変換に、TRIZ はどう貢献するか」
- (C2) 特別講演 : シンポジウムの焦点として選んだ一つのテーマでの招待講演
- ・ Jeongho Shin (韓国) 「やさしく、楽しい TRIZ 習得 (「TRIZ 発明原理の歌」)」
- (C3) 夕食&交流会 : 立食形式の夕食&パーティ、自由なコミュニケーションと人脈づくり
- (C4) 日本 TRIZ 協会総会 : NPO としての正式な年次総会です。協会員の方が参加下さい。  
関心のある方のオブザーバ参加を認めます。

#### 4. 一般発表 (オーラル発表とポスター発表)

現在、一般発表は、国内発表者のもの 24 件、海外発表者のもの 8 件を 受理しています。  
発表形態はつぎのようです。

オーラル発表 : 2 会場並行、各発表は 30 分 (討論 8 分を含む) とする。

発表は日本語または英語、和文と英文のスライドを並行投影する(原則)。

ただし、一部の日本語発表は、和文スライドだけの投影とする。

和英スライド並行投影のセッションでは、討論時に和英双方向の通訳をする。

ポスター発表 : 全ポスターは会場内に 3 日間通して掲示する (著者が掲出作業をする)。

説明は 第 2 日と第 3 日の二つのセッションに分かれて行う。

各ポスターセッションの最初に紹介セッションを置き、全体会場で各発表者が  
2~3 分の紹介を逐次行う。

その後、会場内の指定場所で複数並行でポスター発表 (と質疑) を行う。

20 分後に第 2 ラウンドの説明を始める。

## 5. 概要集、拡張概要集、予稿集 (デジタル版、印刷版) について

概要集： 各発表約 1/3 ページの概要集を、Web サイトに掲出しています。

国内発表者のものは 和文と英文で、海外発表者のものは 英文のみです。

拡張概要集： 各発表 1 ページの拡張概要を (プログラム編成用に) 提出して貰っています。

これはシンポジウム当日、参加者全員に配布します。(国内 和文、海外 英文)

予稿集 (デジタル版)： 各発表について、和文・英文で提出・作成された全資料を掲載します。

シンポジウム参加者は参加登録分のデジタル版予稿集を受け取りますが、非参加の部分 (参加者価格で) 追加注文することができます。

予稿集 (印刷版)： (A)(B)(C) の参加区分に対応して、印刷物の形での予稿集を作る予定です。

日本人向けの版と、海外向けの版 で違います。

また、各発表について掲載する資料は限定されています。

予約注文が必要で、追加料金をいただきます。

詳細は、「発表募集要項 (兼) 最終原稿提出要項」内の記述を参照下さい。

## 6. 一般発表の限定的追加募集について

一般発表を 限定した数 (オーラル 数編、ポスター 数編)、国内・海外から募集します。

関心のある方は、至急 (6 月 20 日までに) 連絡下さい。

発表申込み (拡張概要 1 ページを含む) は、6 月 30 日締切です。

詳細は、6 月 4 日に発表しました資料を参照下さい。

## 7. 発表者の皆さんに: 最終原稿の提出をお願いします。

発表依頼を受諾いただき、または、一般発表を投稿いただき、感謝いたします。

別紙の「最終原稿提出要項」に従い、最終原稿一式の提出をお願いいたします。

発表スライドの提出が必須項目です。

論文形式のものは随意です。ただし、今年から、シンポジウム後に論文を受け付けて査読し、

査読済み論文として「日本 TRIZ 協会 会誌」(仮称) に発表する計画です。奮って応募下さい。

スライドの英訳を著者が協力下さいますようお願いいたします。

(ご希望によりプログラム委員会が英訳を支援いたします。)

問い合わせ、申込み先:

発表に関して: [sympo@triz-japan.org](mailto:sympo@triz-japan.org) (プログラム委員会)

参加・登録に関して: [info@triz-japan.org](mailto:info@triz-japan.org) (事務局/シンポジウム実行委員会)

以上